

# 浅井花子著作目録

和田 崇

- ・調査で判明した浅井花子の全著作を年次順に掲げる。
- ・浅井花子の作品を収録した翻訳書については、本のタイトルと出版社名を先に表示し、改行して翻訳者名と収録内容を示す。
- ・新聞・雑誌掲載分の「見だし・特集名」は（～）で括弧で表示する。ただし、省略した場合がある。
- ・「浅井花子」以外の筆名を用いて発表した著作については、（\*）で括弧で表示する。また、掲載内容の種別についても、判明する範囲で（\*）で括弧で示す。
- ・情報を得ているが未確認の著作については「†」を付し、不明な発行日や巻号などを「\*」で示す。

## 一九二四年・大正13年

1・\* くじやく草†

日活画報

4・1 ビスケツト（\*詩）

婦人文芸 2巻4号

## 一九三〇年・昭和5年

5・1 ある夫婦（\*小説）

文学評論 2巻6号

6・1 泥濘の春（\*小説）

婦人文芸 2巻6号

8・1 本誌一周年記念 講演と映画の夕

傍聴記

2・1 迫害されつゝある×員の妻より（婦人欄）

戦旗 3巻2号

10・1 神楽坂を上る（\*詩）

婦人文芸 2巻8号

\*・\*（タイトル不明）†

詩想 創刊号

一九三六年・昭和11年

3・1 ニーナの花（\*詩） 婦人文芸 3巻3号

3・1 三月を待つ（働く婦人のレポ）（\*小説）

5・1 地下道の春（\*小説） 文学評論 2巻3号

6・1 地下道の春（二）（\*小説） 文学評論 3巻5号

6・1 『働く婦人』の感想（誌友のたより） 文学評論 3巻6号

6・1 限りなき道（\*小説） 婦人文芸 3巻6号

8・1 ゴリキイから学ぶ（ゴリキイの死に対して日本の勤労作家から贈る言葉） 文学評論 3巻8号

8・1 千人針（\*小説） 労働雑誌 2巻8号

一九三七年・昭和12年

2・1 江東橋の「夜の宿」にて（モダン東京風俗往来）（\*ルポ） 婦人文芸 4巻2号

4・1 初冬（\*小説） 婦人文芸 4巻4号

4・1 古きもの（\*小説） 文学界 4巻4号

6・1 作家訪問 浅井花子氏（\*写真・詩） 婦人文芸 4巻6号

一九四〇年・昭和15年

出版月日未記載 『夜鶯文芸訳叢 千人針』未名出版社（中国）

羅玉波編訳／浅井花子「千人針」、小林多喜二「追蹤着

太陽の人們『小林多喜二書簡集』の抜粋」、有島生馬「飼

鴿姑娘（鳩飼ふ娘）」、須井一「合唱（幼き合唱）」、佐々木

一夫「没落後」、永井荷風「牧場道上（牧場の道）」

一九四七年・昭和22年

1・1 婦人団体代表者を囲む座談会（1）（出席者…

蔵前はな、井口多み子、近藤静江、末岡睦子、小野春

江、横見ミヨ、村山千代、山本ミヨ、豊田千代、太田

糸、本社側…西谷社長、土門編集長、岡部婦人部長ほ

か） 小樽新聞 30号

1・\* 婦人団体代表者を囲む座談会（2）†

小樽新聞 3\*号

1・21 婦人団体代表者を囲む座談会（3） 小樽新聞 34号

1・24 婦人団体代表者を囲む座談会（4） 小樽新聞 36号

3・1 二月の言葉（\*随筆） 小樽新聞 53号

4・1 現実のぬかるみから（文化随筆） 小樽新聞 78号

4・3 女性も飛入り演説 人気を呼んだ小樽街頭討論会†

一九四九年・昭和24年

2・2	二月の随想（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	19号
3・6	女の一生を見て（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	51号
3・19	作品の二つの面について（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	64号
3・31	四月の希望（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	75号
4・10	練によせて（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	85号
4・19	アメリカのさくら日本のさくら（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	93号
5・1	みどりの芽に（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	105号
5・18	メーテルリンク青い鳥の思ひ出（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	121号
6・24	小樽図書館によせて（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	156号
7・9	月見草によせて（文化）（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	171号
7・13	朝の火事（*随筆）†	小樽新聞	*号
8・19	啄木の歌碑建立をきいて（文化）（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	210号
9・1	市民の声集録（第一回）郷土市議会に望むもの（は		

がき回答（\*蔵前花）

9・11	椿姫（*蔵前花、随筆）	市会	1巻1号
9・28	小樽の町に（*蔵前花、随筆）	みなと新聞	233号
10・8	子供の転校によせて（*随想）	みなと新聞	249号
10・16	人形に：（*批評）	夕刊北海タイムス	1158号

一九五〇年・昭和25年

1・8	新しい心（*随筆）	夕刊北海タイムス	1241号
1・22	壺井栄と林芙美子（*批評）	夕刊北海タイムス	1255号
1・30	白雪先生と子供たち（*随筆）†	掲載紙不明	
3・31	シャートルのさくら（*随筆）†	小樽新聞	*号

一九五一年・昭和26年

1・20	お正月の香り（*随筆）†	読売新聞	*号
3・20	サテ、市会議員は!!†	小樽新聞	*号
4・14	春はニシンから北海道の春（文化と娯楽）（*蔵前花名義、随筆）	婦人タイムズ	120号
6・21	アカシヤによせて（*随筆）†	小樽新聞	*号
7・13	忘れ勿草（*随筆）†	小樽新聞	*号
9・9	桔梗に寄せて（*随筆）†	小樽新聞	*号

一九五二年・昭和27年

- 3・10 雪に寄せて（\*随筆）† 日本婦人新聞 \*号
- 9・15 詩（\*蔵前ハナ、詩） 浮標 創刊号
- 11・15 女見川市場（\*蔵前花、小説） 浮標 3号
- 12 28年度選抜方法を批判する 4父兄の立場から（特集・高校進学の問題をめぐって）（\*蔵前花、批評） 北海教育評論 5巻12号

一九五五年・昭和30年

- 2・1 握手（\*蔵前はな、詩） 竹やぶ 16号
- 2・12 集り過ぎる原稿（小樽） 勤労者の文化誌（地方文化を語る座談会）（\*出席者：井上光晴、加藤忠夫、浅井花子、司会：国分一太郎） 図書新聞 283号
- 3・6 半時間後（\*蔵前はな、詩） 竹やぶ 17号
- 4・24 青春への言葉（\*蔵前花、随筆） 竹やぶ 18号
- 4・24 若い歌声（\*蔵前はな、詩） 竹やぶ 18号
- 5・1 松田解子さんに（\*蔵前ハナ、詩） 竹やぶ詩集 1号
- 5・1 歌わないで下さい（\*蔵前ハナ、詩） 竹やぶ詩集 1号
- 5・1 冷たい心（\*蔵前ハナ、詩） 竹やぶ詩集 1号
- 7・1 詩集八千万のミイラに寄せて（\*蔵前花、批評） 竹やぶ 19号
- 8・25 子供の署名（\*蔵前花、随想） 竹やぶ 20号
- 8・25 伸びゆくものに―竹やぶ十九号の感想―（\*蔵前花） 竹やぶ 20号

一九五三年・昭和28年

- 2・15 私の朝（冬の随想）（\*蔵前花） 浮標 4号
- 8・25 六月の心（\*蔵前花、随筆） 浮標 5号

一九五四年・昭和29年

- 1・25 上野広小路（\*蔵前花名義、随筆） 浮標 6号
- 1・25 愛（\*蔵前花、詩） 浮標 6号
- 1・25 死（\*銭屋弘子、小説） 浮標 6号
- 8・15 水爆反対（\*蔵前はな、詩） 竹やぶ 13号
- 9・1 死（\*小説） 新日本文学 9巻9号
- 10・1 小熊秀雄さん（\*蔵前はな、随筆） 竹やぶ 14号

一九五六年・昭和31年

- 12・25 ピストル（短篇特集）（\*小説） 竹やぶ 22号
- 12・25 髪（\*蔵前はな、詩） 竹やぶ 22号

2・10	へこんだ顔（*小説）	浮標	10号						
3・25	風の日の断片（*随筆）	竹やぶ	23号						
3・25	石上薫さん（*蔵前ハナ、随想）	竹やぶ	23号						
5・20	エンジ色の春（日活篇）（*蔵前ハナ、随想）			発行月日不明	風の鶏（*小説）†				くま 2号
9・25	壁（*蔵前はな、詩）	竹やぶ	24号						
9・25	朝鮮中央芸団を見て（*蔵前はな、随筆）	竹やぶ	25号	一九六一年・昭和36年					
12・5	抵抗として―詩集 霧の祭りに―（*評論）	竹やぶ	25号	2・1	寒い空間で（*随想）	辛夷	12卷2号（通卷124号）		
12・5	待つ（*蔵前花、短歌十五首）	竹やぶ	26号	2・1	粉雪の心（*短歌一首）	辛夷	12卷2号（通卷124号）		
12・10	風の鶏（*小説）	竹やぶ	26号	4・1	子の父帰らず（*短歌十首）	辛夷	12卷4号（通卷126号）		
12・20	ちか子（*小説）	浮標	12号	5・1	血潮の中に（*短歌十首）	辛夷	12卷5号（通卷127号）		
		曠野大学		7・1	暗いニュース（*短歌六首）	辛夷	12卷7号（通卷129号）		
				7・1	母のうたに（*批評）	辛夷	12卷7号（通卷129号）		
				8・1	言葉（*詩）	辛夷	12卷8号（通卷130号）		
				9・1	あなたのむらさき（*詩）	辛夷	12卷8号（通卷130号）		
				9・1	悲しき月（*短歌八首）	辛夷	12卷9号（通卷131号）		
				10・1	晩夏（*短歌八首）	辛夷	12卷9号（通卷131号）		
				12・1	呼べば応えるだろう（*詩）	辛夷	12卷10号（通卷132号）		
				12・1	小樽育成院（*蔵前花子、短歌十首）	辛夷	12卷12号（通卷134号）		
8・1	育成院をたずねる（*蔵前花、随筆）	竹やぶ	29号						
8・20	風の鶏(二)（*小説）	浮標	13号						
10・23	伸びる南小樽子供会†	小樽新聞（夕刊）	*号						
	一九五八年・昭和33年								
12・20	風見の鶏（*小説）	くま	1号	12・1	妻の眼（二十首評）（*短歌二十首）	辛夷	12卷12号（通卷134号）		

12・1 卷頭言「0」に（雁信）（\*詩）

辛夷 12卷12号（通卷134号）

3・1 椿（\*短歌五首）

4・1 裁く人（\*短歌八首）

4・1 雪の中の青空（\*随筆）

4・1 悲しきひと（\*藏前花子、短歌十首）

8・1 朝見哲路氏への逆説（\*批評）

2・1 『好きと云うこと』 || 辛夷によせて ||（\*随筆）

辛夷 13卷2号（通卷136号）

3・1 カチユシヤ（\*短歌十首）

辛夷 13卷3号（通卷137号）

6・1 私の望む短歌（\*随筆）

辛夷 13卷6号（通卷140号）

7・1 木々みどりなれども（\*短歌九首）

辛夷 13卷7号（通卷141号）

7・1 母の歌研究（五月号から）（\*批評）

辛夷 13卷7号（通卷141号）

10・1 『伯楽先生に』（\*随筆）

辛夷 13卷10号（通卷144号）

11・1 去りし後（\*短歌十首）

辛夷 13卷11号（通卷145号）

11・1 訪問者（\*随筆）

辛夷 13卷11号（通卷145号）

1・1 一九三六年の回顧と展望（\*批評）

辛夷 14卷1号（通卷147号）

一九六三年・昭和38年

3・1 他人のこと（\*小説）

3・1 痴呆の妻（\*短歌八首）

5・1 刺のある雨（\*短歌八首）

6・1 冷酷な雨（\*短歌七首）

辛夷 14卷3号（通卷149号）

辛夷 14卷4号（通卷150号）

辛夷 14卷4号（通卷150号）

辛夷 14卷4号（通卷150号）

辛夷 14卷4号（通卷150号）

辛夷 14卷8号（通卷154号）

辛夷 14卷8号（通卷154号）

辛夷 14卷8号（通卷154号）

辛夷 14卷8号（通卷154号）

辛夷 14卷8号（通卷154号）

辛夷 14卷11号（通卷157号）

辛夷 14卷11号（通卷157号）

辛夷 15卷1号（通卷159号）

辛夷 15卷3号（通卷161号）

辛夷 15卷5号（通卷163号）

辛夷 15卷6号（通卷164号）

辛夷 15卷6号（通卷164号）

辛夷 15卷6号（通卷164号）

辛夷 15卷6号（通卷164号）

辛夷 15卷6号（通卷164号）

辛夷 15卷6号（通卷164号）

辛夷 15卷6号（通卷164号）

辛夷 15卷6号（通卷164号）

一九六四年・昭和39年

1・1 童話の刻（\*短歌七首）

3・1 他人のこと（\*小説）

5・1 刺のある雨（\*短歌八首）

6・1 冷酷な雨（\*短歌七首）

6・1 冷酷な雨（\*短歌七首）

6・1 冷酷な雨（\*短歌七首）

6・1 冷酷な雨（\*短歌七首）

6・1 冷酷な雨（\*短歌七首）

一九六五年・昭和40年

6・1 冷酷な雨（\*短歌七首）

6・1 冷酷な雨（\*短歌七首）

6・1 冷酷な雨（\*短歌七首）

6・1 冷酷な雨（\*短歌七首）

3・1 表情なき子（\*短歌七首） 辛夷 16卷3号（通卷173号）  
3・1 風見の鶏（\*小説） 小樽文学 3号

一九六七年・昭和42年

6・1 母逝きぬ（\*短歌九首） 辛夷 18卷6号（通卷200号）  
8・1 裸体（\*短歌八首） 辛夷 18卷8号（通卷202号）

一九六八年・昭和43年

1・1 火の季節（\*短歌八首） 辛夷 19卷1号（通卷207号）  
2・1 初冬（\*短歌七首） 辛夷 19卷2号（通卷208号）  
2・1 暗い時刻（\*藏前花子、短歌七首） 辛夷 19卷2号（通卷208号）  
4・1 雀（\*短歌八首） 辛夷 19卷4号（通卷210号）  
12・1 老女彷徨（\*短歌七首） 辛夷 19卷12号（通卷218号）